



挑戦と
創造の
あかし

TEAM NEXT YONEZAWA



無限に膨らむ可能性 八方に使える便利素材

アズマ化成株式会社（八幡原）



▲アズマ化成株式会社の
の取り組みはこちら

代表取締役社長の関根清和さん。写っているものは全て発泡スチロール。発泡スチロールは加工がしやすい素材なので、色々な形状をつくることができます。

発泡スチロールの車で、発泡スチロールの道路を走る。少し大きな表現ですが、近いことが起きています。知っているようで知らない発泡スチロールの世界をご案内します。

「5トンの重さに耐えられます」。関根さんはそう言いながら、大人3人分の大きさはある発泡スチロールのブロックを軽々と持ち上げます。発泡スチロールは、※全体の98%が空気のため、省資源で、軽く、断熱性に優れ、衝撃吸収性が高い素材です。容器や緩衝材として使われるイメージが強い発泡スチロールですが、実は非常に重要な場所に使われています。その一つが道路です。東日本大震災では、一刻も早く物資を被災地に輸送するために道路の拡幅工事が行われましたが、このとき、発泡スチロールが土の代わりに使われました。

また、自動車の部材としても発泡成形品が採用されており、軽量化と衝撃吸収に貢献しています。アズマ化成(株)でも、一部の車種の自動車部材を生産しています。発泡スチロールは他にも、住宅の断熱材や天井、クッションビーズなどにも使われています。

環境への影響はないのでしょうか。「以前、発泡スチロールは環境に悪いという誤解が広まりましたが、ほとんどが空気できてきているため環境に優しい素材です。また、日本でのリサイクル率は90%を超えています。原料となるポリスチレンの成分は水素と炭素なので、燃えても水と二酸化炭素しか発生しません。

わずかな原料から大きな効果を得られる発泡スチロール。製品の安全・安心を守る緩衝材として、また、省資源・省エネルギーの陰の立役者として、皆さんの生活に溶け込んでいます。

「米沢市役所 TEAM NEXT YONEZAWA」の取り組み

米沢市役所が取り組む米沢品質向上運動の具体的な取り組みとして、市役所への満足度調査「市役所あるあるアンケート」を募集しています。右の二次元コードから米沢市役所 TNY のページに進めますので、そちらのコメント欄に米沢市役所を利用されてお気づきの点などをご記入ください。

関係各課で情報を共有し、より良い市役所を目指してまいります（原則としてコメントへの返信は行いませんのでご了承ください）。



TEAM NEXT
YONEZAWA



※発泡スチロールの製造方法：原料であるポリスチレンに空気を入れ、直径1ミリ程度の粒を作る。その粒に熱を加えると中の空気が膨らみ、一般的には50倍まで大きくなる(発泡ビーズ)。発泡ビーズを型に入れてさらに加熱すると、発泡ビーズ同士がくっついて発泡スチロールになる。